

(様式1-1) 社会資本総合整備計画 中間評価書(案)

1. 整備計画										
計画の名称	人・まち・自然が調和し、躍動する「みなとまち・さかなまち」									
計画の期間	令和3年度～令和7年度				交付対象	静岡県				
計画の目標										
沼津港と戸田漁港を一体的に整備することにより、観光拠点としての沼津港の魅力を高めるとともに、老朽化した施設の整備により漁業就労者の労働軽減を図り、持続可能な労働環境を確保し、安全で安定的な水産物の供給を実現する。沼津港では回遊性の高い動線を整備することにより、地場水産物の更なる消費向上、より多くの観光客の受入れを目指す。戸田漁港では、老朽化した係留施設を整備することで、出漁準備における環境の改善を図り、陸揚先である沼津港では、潮位によらず陸揚げが可能な係留施設を整備することで漁業就労環境の改善と安全で安定した漁業活動を支援し、属人陸揚量の維持を図る。また、沼津ブランド創出事業や沼津市政100周年(令和5年)に開催した第15回Sea級グルメ全国大会in沼津等を通じ、沼津の魅力や駿河湾の海の幸を全国的に発信することにより、観光業や水産業の更なる活性化を図るほか、沼津市中心市街地と沼津港を結ぶEVバスの運行や地域の観光スポットを結ぶシェアサイクル事業など、官民一体となったまちづくりを進めることにより地域の魅力を高め、地域の再生を図る。										
計画の成果目標(定量的指標)										
沼津市観光交流客数の維持 450万人(平成30年)→450万人(令和7年) 戸田漁港属人陸揚量の維持 6.8万t(平成30年)→6.8万t(令和7年)										
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値			備考	
						当初現況値	中間目標値	最終目標値		
						(R3当初)	(R5末)	(R7末)		
①	沼津市観光交流客数の維持(万人)					450	450	450		
②	戸田漁港属人陸揚量の維持(千t)					68	68	68		
③										
全体事業費	合計(A+B+C)	491百万円	A	411百万円	B	80百万円	C	効果促進事業費の割合		
C/(A+B+C)										
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考
港整備推進交付金		沼津港(静岡県)			係留施設 L=39m、外郭施設 L=44m			沼津市	411	A
事業数		戸田漁港(静岡県)			係留施設 L=130m			沼津市	80	B
2										
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)										
計画の移行なし	○		△		-		備考	計画の移行あり	●	▲
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況										
【港湾】新型コロナウイルス感染症の影響が残るR3年度の観光交流客数(242万人)と比較し、令和5年度の実績値(366万人)では、沼津港で開催されたSea級グルメ全国大会の効果もあり、目標値の達成までは至らなかったものの、観光交流客数が増加しており、同様の増加傾向が継続すればR7年度末には目標値を達成する見込みである。上記イベントでは、本事業で整備した浮桟橋が遊覧船等の発着場所として利用されるなど、沼津市の観光交流客数の増加に寄与していたと考えられる。										
【漁港】物揚場の老朽化対策については、舗装補修が令和6年度上半に完了しており、まだ事業効果は発現しておらず、令和5年度の実績では目標値の達成に至らなかったと考えられる。漁業者が日常的に利用する物揚場の老朽化対策を進めることで快適で安全な漁業活動を支援し引き続き整備を進めていく。										
II 定量的指標の達成状況		指標①沼津市観光交流客数の維持(万人)	中間目標値	450	目標値と実績値に差が出た要因	・全国的な観光需要の増加があったものの、県内各地で観光振興に力を入れる自治体間での競争が激化し、当初想定したほどの交流客数(特に宿泊者)の増加とまではいかなかったと考えられる。				
			中間実績値	366						
		指標②戸田漁港属人陸揚量の維持(千t)	中間目標値	68	目標値と実績値に差が出た要因	物揚場の老朽化対策については、舗装部分が令和6年度上半に完了しており、まだ事業効果は発現しておらず、中間目標値を下回った実績となったと考えられる。				
			中間実績値	59						
		指標③()	中間目標値		目標値と実績値に差が出た要因					
			中間実績値							
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況										
【港湾】令和5年度に開催されたSea級グルメ全国大会の開催と、それに向けた浮桟橋の整備によって、沼津港の全国的な魅力や知名度向上が見込まれており、今後さらなる観光交流客の増加が期待できる。また、物揚場の改良によって漁業者の就労環境の改善が進み、物揚場の工事が完了する令和6年度末以降にその効果が発現すると見込まれる。										
【漁港】令和5年12月末時点の戸田漁業組合を構成する組合員数は、令和4年同時期から維持できており、漁業者の減少傾向に歯止めをかけられている。										
3. 今後の方針等										
本地域再生計画においては、円滑に整備が進み、計画年度内にすべての工事が完了する見込みである。令和5年度のSea級グルメ全国大会による全国的な知名度向上の効果により、今後さらなる観光・交流人口の増加等も見込まれる。また、水産物の水揚量についても事業進捗に伴い今後増加に転じるよう地域の活性化に向けて、引き続き地域再生計画に基づき、施設整備を進めていく。										

(1) 事業の目的

沼津港と戸田漁港を一体的に整備することにより、観光拠点としての沼津港の魅力を高めるとともに、老朽化した施設の整備により漁業就労者の労働軽減、持続可能な労働環境の確保、安全で安定的な水産物の供給を実現することを目標としている。沼津港では、回遊性の高い動線整備により、より多くの観光客の受入れを目指すとともに、潮位によらず陸揚げ可能な係留施設の整備によって地場水産物の更なる消費向上を目指す。戸田漁港では、老朽化した係留施設の整備による出漁準備環境の改善によって、陸揚量の維持を図ることを目的としている。

(2) 指標①：沼津市観光交流客数の維持

コロナ禍により減少した沼津市全体の観光交流客数の維持を指標として設定した。

指標②：戸田漁港属人陸揚量の維持

戸田漁港を拠点とする漁業者の水揚量の維持を指標として設定した。

指標の達成状況

①令和5年度末の中間実績値は366万人であり、コロナ禍からの回復が遅れ伸び悩んだと考えられる。

②令和5年度末の中間実績値は59千tであり、事業効果発現前であったためと考えられる。

計画の成果目標	定量的指標				達成率(R5末中間)
	R3当初	R5末中間目標	R7末最終目標	R5末中間実績	
①沼津市の観光交流客数の維持(万人)	450	450	450	366	81.3%
②戸田漁港属人陸揚量の維持(千t)	68	68	68	59	86.7%

(3) 指標に関連する実施事例



(4) 定量指標以外の効果発現状況

令和5年10月にSea級グルメ全国大会in沼津が開催され、全国から多くの観光客が訪れるとともに、全国に沼津港の魅力が発信され、今後さらなる観光客の増加が見込まれる。

(5) 今後の方針と目標達成見込み

今後の観光客増加と漁業者の就労環境改善に寄与するため、引き続き臨港道路の改良等、施設整備を実施し、令和7年度末までの整備完了を目指す。

地図 縮尺、方位、目標となる地物及び地域再生計画の区域を表示した付近見取図



人・まち・自然が調和し、躍動する「みなとまち・さかなまち」